

放射線学 2

年次	学期	学則科目責任者
3年次	前学期	金田 隆 (放射線学)

学修目標 (GIO) と 単位数	歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、各種撮影法の原理や画像の読影および防護を習得する。 2単位
担当教員	金田 隆、伊東 浩太郎、川島 雄介、平原 尚久、関谷 恵子、徳永 悟士、原 慶宜、※井出 吉信、※本田 和也、※菅井 敏郎、※箕輪 和行、村松 輝晃、村岡 宏隆、※月岡 庸之、※阪 柳 雅志、※小澤 薫、※山城 光明、※加藤 尊巳、※加藤 嘉哉、※堤 豊重、※田中 諭、※関谷 浩太郎、今井 浩之、小椋 一朗、※富永 一郎、※本多 伊知郎、※熊坂 さつき、※南 学、※村上 秀明
教科書	Q&A で学ぶ歯科放射線学：SBOs 講義 金田 隆 学研書院 歯科放射線学実習書 日本大学松戸歯学部放射線学講座編
参考図書	歯科放射線診断 teaching file 金田 隆、倉林 亨 砂書房 Case Based Review 顎口腔領域の疾患 金田 隆、久山佳代 永末書店 画像でみる歯科放射線(CDR) 金田 隆、井出吉信 わかば出版 歯科放射線学 第6版 岡野友宏・小林馨・有地榮一郎 医歯薬出版
評価方法 (EV)	講義：授業時間内に行う画像診断試験 1 (20%)、画像診断試験 2 (30%)、平常試験 (50%) によって評価点とする。試験の結果に応じて、補講や再試験などの措置を講じることがある。 実習：実習中に実施する小テスト (20%)、実習評価 (30%)、歯科放射線学実習試験 (50%) によって評価点とする。試験の結果に応じて、補講や再試験などの措置を講じることがある。 最終評価は、講義 (50%)、実習 (50%) の割合とする。
学生へのメッセージ オフィスアワー	放射線学は歯科臨床に必須の学問である。毎回興味を持って取り組んでもらいたい。e-mail による質問も受け付ける。

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/05 (木) 1時限 09:00~10:30	実習：各回の実習は、班毎にローテートして行うので注意すること。(実習は第1, 2, 3クルールの3回に分けて実施する。) 【第1クール】口内法撮影実習 (A班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口内法撮影の手順が説明できる。 2. 正しいフィルムの位置付けができる。 3. 二等分法が説明できる。 4. 正放射線投影が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口内法が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線検査)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/04/05 (木) 2時限 10:40~12:10	実習：各回の実習は、班毎にローテートして行うので注意すること。(実習は第1, 2, 3クルールの3回に分けて実施する。)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口内法撮影の手順が説明できる。 2. 正しいフィルムの位置付けができる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/05 (木) 2時限 10:40～12:10	〔第1クール〕口 内法撮影実習(A 班)	<p>3.二等分法が説明できる。 4.正放線投影が説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口内法が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影(口内法、パノラマエックス線検査)</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一郎 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/04/11 (水) 1時限 09:00～10:30	エックス線診断の 基礎	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、エックス線診断の基礎を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.レントゲンサインの説明ができる。 2.エックス線検査の限界を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 エックス線検査による鑑別診断ができる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 b エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材 d エックス線撮影(口内法、パノラマエックス線検査)</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ④エックス線画像の形成原理(画像不良の原因と含む)を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	金田 隆
2018/04/12 (木) 1時限 09:00～10:30	現像処理とエック ス線写真の評価 (A班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、現像処理とエックス線写真の評価を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1.自動現像機を使用できる。 2.フィルム特性曲線を作成できる。 3.フィルムの種類によるコントラストの違いを説明できる。 4.被写体ーフィルム間距離が鮮鋭度に与える影響について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 現像処理が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/12 (木) 1時限 09:00～10:30	現像処理とエックス線写真の評価 (A 班)	<p>アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 b エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 a コントラストと分解能</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因と含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。</p>	加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/04/12 (木) 2時限 10:40～12:10	現像処理とエックス線写真の評価 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、現像処理とエックス線写真の評価を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 自動現像機を使用できる。 2. フィルム特性曲線を作成できる。 3. フィルムの種類によるコントラストの違いを説明できる。 4. 被写体—フィルム間距離が鮮鋭度に与える影響について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 現像処理が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 b エックス線撮影装置、検出器、撮影補助器材</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 a コントラストと分解能</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因と含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/04/18 (水) 1時限 09:00～10:30	顎骨嚢胞の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎骨嚢胞の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎骨の嚢胞の鑑別診断ができる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎骨の嚢胞の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査</p>	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/18 (水) 1時限 09:00～10:30	顎骨嚢胞の画像診断	<p>2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 オ 顎骨に発生する嚢胞性疾患の病態・診断・治療 a 歯原性嚢胞 b 非歯原性嚢胞</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (5) 嚢胞 ①口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する嚢胞の症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	金田 隆
2018/04/19 (木) 1時限 09:00～10:30	パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. パノラマエックス線撮影の手順が説明できる。 2. パノラマエックス線撮影の原理が説明できる。 3. パノラマエックス線撮影の失敗原因を説明できる。 4. パノラマエックス線像の障害陰影が説明できる。 5. パノラマエックス線像のトレースができる。 6. パノラマエックス線像の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 パノラマエックス線検査が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線検査)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 c パノラマエックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	<p>金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学</p>
2018/04/19 (木) 2時限 10:40～12:10	パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. パノラマエックス線撮影の手順が説明できる。 2. パノラマエックス線撮影の原理が説明できる。 3. パノラマエックス線撮影の失敗原因を説明できる。 4. パノラマエックス線像の障害陰影が説明できる。 5. パノラマエックス線像のトレースができる。 6. パノラマエックス線像の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 パノラマエックス線検査が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線検査)</p>	<p>金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/19 (木) 2時限 10:40～12:10	パノラマエックス線撮影の原理と正常解剖 (A 班)	<p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 c パノラマエックス線検査</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/04/25 (水) 1時限 09:00～10:30	顎骨良性腫瘍の画像診断 1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎骨良性腫瘍の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎骨の良性腫瘍の鑑別診断ができる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎骨の良性腫瘍の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍 c 非歯原性良性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。</p>	金田 隆 原 慶宜
2018/04/26 (木) 1時限 09:00～10:30	デジタル画像システム (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、デジタル画像システムを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. デジタルエックス線撮影法の原理を説明できる。 2. デジタル口内法エックス線撮影装置の操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 デジタル画像システムが説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線検査)</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/04/26 (木) 1時限 09:00～10:30	デジタル画像システム (A 班)	<p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 イ 画像検査における医療情報 a 医療画像システム<PACS></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊已 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 論 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/04/26 (木) 2時限 10:40～12:10	デジタル画像システム (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、デジタル画像システムを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. デジタルエックス線撮影法の原理を説明できる。 2. デジタル口内法エックス線撮影装置の操作ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 デジタル画像システムが説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 イ 画像検査における医療情報 a 医療画像システム<PACS></p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 村松 輝晃 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 南 学 小椋 一朗 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊已 加藤 嘉哉 熊坂 さつき 阪柳 雅志 関谷 浩太郎 田中 論 月岡 庸之 堤 豊重 富永 一郎 本多 伊知郎 今井 浩之
2018/05/02 (水) 1時限 09:00～10:30	顎口腔領域損傷の画像診断・顎口腔領域炎症性疾患の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎口腔領域損傷の画像診断・顎口腔領域炎症性疾患の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎骨の骨折の適切な画像検査法を選択できる。 2. 口腔領域の炎症の特徴像を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎骨骨折および炎症の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p>	平原 尚久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/02 (水) 1時限 09:00～10:30	顎口腔領域損傷の 画像診断・顎口腔 領域炎症性疾患の 画像診断	<p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 ウ 歯・歯槽骨・顎骨・顔面骨の損傷の病態・診断・治療 b 歯槽骨骨折 c 下顎骨骨折 d 上顎骨骨折 e 頬骨・頬骨弓骨折 f 鼻骨骨折 a 歯槽骨炎、顎骨炎 b 顎骨骨膜炎 c 顎骨骨髄炎 d 歯性上顎洞炎</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imagin g <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	平原 尚久
2018/05/09 (水) 1時限 09:00～10:30	歯および歯周組織 の病変の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、歯および歯周組織の病変の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 画像による歯の病態像を説明できる。 2. 画像による歯周組織の病態像を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 歯および歯周組織の病変の適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅱ 歯・歯髄・歯周組織の疾患 2 歯髄疾患、根尖性歯周疾患 ア 歯髄疾患・根尖性 歯周疾患の病因と病態 a 歯髄疾患 b 根尖性歯周疾患 c 歯内-歯周疾患</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (4) 口腔粘膜疾患 ①口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明できる。</p>	伊東 浩太郎
2018/05/10 (木) 1時限 09:00～10:30	CT (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CTを習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. CT の原理を説明できる。 2. CT の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 CT が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 重論 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/10 (木) 1時限 09:00～10:30	CT (A 班)	<p>必修の基本的事項 1 0 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT (単純、造影)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	熊坂 さつき 南 学
2018/05/10 (木) 2時限 10:40～12:10	CT (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CTを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. CT の原理を説明できる。 2. CT の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 CT が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 1 0 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT (単純、造影)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月澤 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/05/16 (水) 1時限 09:00～10:30	画像診断試験 1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 試験</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 3 0 1 教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 b 全身疾患の画像所見</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/16 (水) 1時限 09:00～10:30	画像診断試験 1	<p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜
2018/05/17 (木) 1時限 09:00～10:30	超音波検査 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、超音波検査を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査法の原理を説明できる。 2. 超音波検査法の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 超音波検査が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ク 超音波検査 a 原理、特徴、適応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一郎 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/05/17 (木) 2時限 10:40～12:10	超音波検査 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、超音波検査を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 超音波検査法の原理を説明できる。 2. 超音波検査法の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 超音波検査が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ク 超音波検査 a 原理、特徴、適応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一郎 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/23 (水) 1時限 09:00~10:30	唾液腺疾患の画像診断・頸部疾患の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、唾液腺疾患の画像診断・頸部疾患の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 唾液腺疾患の適切な画像検査法を選択できる。 2. 唾液腺疾患の鑑別診断ができる。 3. 頸部腫瘍の適切な画像検査法を選択できる。 4. 頸部腫瘍の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 唾液腺疾患および頸部疾患の画像検査法を列挙できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 3 主として機能に関連する疾患の病態・診断・治療 ア 唾液腺疾患の病態 c 唾液腺損傷 d 唾液腺炎、唾液管炎 e Sjögren症候群 k 唾石症</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。 E-2-4) - (8) 唾液腺疾患 ②唾石症の特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 ③唾液腺炎の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。 ④唾液腺腫瘍の種類、特徴、症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	伊東 浩太郎
2018/05/24 (木) 1時限 09:00~10:30	〔第2クール〕CBCT (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CBCTを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. CBCT の原理を説明できる。 2. CBCT の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 CBCT が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT (単純、造影)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/05/24 (木)	〔第2クール〕CB	【授業の一般目標】	金田 隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2時限 10:40~12:10	CT (A 班)	<p>歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、CBCTを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. CBCT の原理を説明できる。 2. CBCT の正常解剖を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 CBCT が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室、411 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT (単純、造影)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/05/30 (水) 1時限 09:00~10:30	顎骨良性腫瘍の画像診断2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎骨良性腫瘍の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 顎骨の良性腫瘍の鑑別診断ができる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎骨の良性腫瘍の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 a 歯原性良性腫瘍 c 非歯原性良性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ②口腔・顎顔面領域に発生する良性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。</p>	平原 尚久
2018/05/31 (木) 1時限 09:00~10:30	放射線防護と除染 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、放射線防護と除染を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 線量測定を行うことができる。 2. 除染ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 放射線防護が説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/05/31 (木) 1時限 09:00～10:30	放射線防護と除染 (A 班)	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 c 放射線の防護・管理</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ウ 医療放射線被爆の防護と管理 a 正当化、最適化、線量限度 b 患者と医療従事者の放射線防護</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。</p>	小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/05/31 (木) 2時限 10:40～12:10	放射線防護と除染 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために，放射線防護と除染を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 線量測定を行うことができる。 2. 除染ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 放射線防護が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 c 放射線の防護・管理</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ウ 医療放射線被爆の防護と管理 a 正当化、最適化、線量限度 b 患者と医療従事者の放射線防護</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/06/06 (水) 1時限 09:00～10:30	エックス線解剖	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために，エックス線解剖を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 単純エックス線像の正常解剖を説明できる。 2. 各種特殊撮影法の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 エックス線像の正常解剖を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p>	井出 吉信

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/06 (水) 1時限 09:00～10:30	エックス線解剖	<p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 4 頭頸部の構造 キ 頭頸部の局所解剖 a 画像解剖</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 9 口腔・顎顔面の発生・成長・発育 ア 頭頸部の形成 b 顎顔面（口蓋、顎関節を含む）</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-1) 頭頸部の基本構造と機能 ③咀嚼筋、表情筋及び前頸筋の構成と機能を説明できる。 ④頭頸部の脈管系を説明できる。 ⑤脳神経の走行、分布及び線維構成を説明できる。 ⑩咽頭と喉頭の構造と機能を説明できる。</p>	井出 吉信
2018/06/07 (木) 1時限 09:00～10:30	インプラントシミュレーション (A班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントシミュレーションを習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.インプラントのための正常解剖を説明できる。 2.インプラントシミュレーションができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 インプラントシミュレーションが説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 オ CT a 原理、特徴、適応</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンピームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imagin g <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶 村松 輝晃 岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一郎 富永 一郎 本多 伊知郎 坂 伊知郎 南 さつき 学
2018/06/07 (木) 2時限 10:40～12:10	インプラントシミュレーション (A班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントシミュレーションを習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1.インプラントのための正常解剖を説明できる。 2.インプラントシミュレーションができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 インプラントシミュレーションが説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT（単純、造影）</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶 村松 輝晃 岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一郎 富永 一郎 本多 伊知郎 坂 伊知郎 南 さつき 学

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/07 (木) 2時限 10:40～12:10	インプラントシミュレーション (A 班)	<p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 b 埋入計画の立案</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 嘉哉 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/06/13 (水) 1時限 09:00～10:30	口腔領域悪性腫瘍の画像診断 1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口腔領域悪性腫瘍の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 口腔領域の悪性腫瘍の進展経路を説明できる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口腔領域の悪性腫瘍の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅲ 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 b 歯原性悪性腫瘍 d 非歯原性悪性腫瘍</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ①口腔・顎顔面領域に発生する腫瘍の種類と特徴を説明できる。 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。</p>	金田 隆
2018/06/14 (木) 1時限 09:00～10:30	口内法写真のマウントと正常解剖 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法写真のマウントと正常解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 14 枚法のマウントができる。 2. 口内法エックス線写真のトレースができる。 3. 口内法エックス線写真の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口内法写真の正常解剖が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室、411 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論Ⅵ 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 村松 輝晃 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 南 学 小椋 一朗 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 熊坂 さつき 阪柳 雅志 関谷 浩太郎 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 富永 一郎 本多 伊知郎 今井 浩之 村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/14 (木) 1時限 09:00~10:30	口内法写真のマウントと正常解剖 (A 班)	<p>b 口内法エックス線検査</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 a 基本事項</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 村松 輝晃 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 南 学 小椋 一朗 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 加藤 嘉哉 熊坂 さつき 阪柳 雅志 関谷 浩太郎 田中 諭 月岡 庸之 堤 豊重 富永 一郎 本多 伊知郎 今井 浩之 村岡 宏隆
2018/06/14 (木) 2時限 10:40~12:10	口内法写真のマウントと正常解剖 (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口内法写真のマウントと正常解剖を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 14 枚法のマウントができる。 2. 口内法エックス線写真のトレースができる。 3. 口内法エックス線写真の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口内法写真の正常解剖が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室、411 教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線検査)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論Ⅱ 正常構造と機能、発生、成長、発達、加齢 5 歯と歯周組織の構造 ア 歯の形態 a 基本事項</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/06/20 (水) 1時限 09:00~10:30	インプラントの画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、インプラントの画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. インプラントの適応が説明できる。 2. インプラントの臨床応用を列挙できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 インプラントに必要な画像検査法を列挙できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301 教室、第2 実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 e CT (単純、造影)</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学各論 各論Ⅳ 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害</p>	菅井 敏郎

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/20 (水) 1時限 09:00~10:30	インプラントの画像診断	6 インプラント義歯による治療 ア インプラント義歯の設計 a 上部構造の設計 b 埋入計画の立案 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	菅井 敏郎
2018/06/21 (木) 1時限 09:00~10:30	口外法写真 (A 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口外法を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. PA, Waters 写真のトレースができる。 2. PA, Waters 写真の正常解剖を理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 口外法が説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室、411教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 d 顎顔面頭蓋部エックス線検査 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/06/21 (木) 2時限 10:40~12:10	口外法写真 (A 班)	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口外法を習得する。 【行動目標 (SBOs)】 1. PA, Waters 写真のトレースができる。 2. PA, Waters 写真の正常解剖を理解できる。 【準備学修項目と準備学修時間】 口外法が説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書 【学修方略 (LS)】 実習 【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室、411教室 【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 d 顎顔面頭蓋部エックス線検査 【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/27 (水) 1時限 09:00～10:30	顎関節の画像診断	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、顎関節の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎関節の画像検査法の利点、欠点を説明できる。 2. 顎関節疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎関節の画像検査法を列挙できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (7) 顎関節疾患 ①顎関節疾患の種類と特徴を説明できる。 ②顎関節疾患 (發育異常、外傷、炎症、退行性顎関節疾患、顎関節症、顎関節強直症、腫瘍及び腫瘍類似疾患) の症状、診断法及び治療法を説明できる。</p>	本田 和也
2018/06/28 (木) 1時限 09:00～10:30	MRI (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、MRIを習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. MRI の原理を説明できる。 2. MRI の正常解剖を説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 MRI が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 論 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/06/28 (木) 2時限 10:40～12:10	MRI (A 班)	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、MRIを習得する。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/06/28 (木) 2時限 10:40~12:10	MRI (A 班)	<p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> MRI の原理を説明できる。 MRI の正常解剖を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 MRI が説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/07/04 (水) 1時限 09:00~10:30	口腔領域の放射線治療	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、口腔領域の放射線治療を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 口腔領域の放射線治療の意義と目的を説明できる。 口腔領域の放射線治療の種類、適応、特徴を説明できる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口腔領域の放射線治療の原理を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分 マルチメディア、プリント</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VII 治療 7 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 a 治療の意義と目的</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VII 治療 7 放射線治療 イ 口腔領域の放射線治療 b 種類、適応、特徴</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法 (細胞診、組織診、画像診断) 及び治療法を説明できる。</p>	村上 秀明
2018/07/05 (木) 1時限 09:00~10:30	〔第3クール〕画像検査報告書作成 1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】</p> <ol style="list-style-type: none"> 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。 <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/05 (木) 1時限 09:00～10:30	〔第3クール〕画像検査報告書作成 1	<p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室、411教室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 b 全身疾患の画像所見</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	<p>月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 論 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学</p>
2018/07/05 (木) 2時限 10:40～12:10	〔第3クール〕画像検査報告書作成 1	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために，画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分，プレテスト，ポストテスト マルチメディア，実習書</p> <p>【学修方略（LS）】 実習</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 b 全身疾患の画像所見</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	<p>金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 論 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学</p>
2018/07/11 (水) 1時限 09:00～10:30	口腔領域悪性腫瘍の画像診断2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために，口腔領域悪性腫瘍の画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標（SBOs）】 1. 口腔領域の悪性腫瘍の進展経路を説明できる。 2. 適切な画像検査法を選択できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 口腔領域の悪性腫瘍の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有，予習30分 マルチメディア，プリント</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】</p>	<p>箕輪 和行</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/11 (水) 1時限 09:00~10:30	口腔領域悪性腫瘍の画像診断2	301教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論III 顎・口腔領域の疾患 2 主として硬組織に関連する疾患の病態・診断・治療 カ 顎骨に発生する腫瘍および腫瘍類似疾患 b 歯原性悪性腫瘍 d 非歯原性悪性腫瘍 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-2 口腔・顎顔面領域の常態と疾患 E-2-4) 口腔・顎顔面領域の疾患 E-2-4) - (6) 腫瘍及び腫瘍類似疾患 ③口腔・顎顔面領域の悪性腫瘍の一般的な症状、診断法(細胞診、組織診、画像診断)及び治療法を説明できる。 ④腫瘍類似疾患の種類と特徴を説明できる。	箕輪 和行
2018/07/12 (木) 1時限 09:00~10:30	画像検査報告書作成2	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:有, 予習30分, プレテスト, ポストテスト マルチメディア, 実習書 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像 【国家試験出題基準(副)】 歯科医学各論 各論IV 歯質・歯・顎顔面欠損と機能障害 2 診察、検査、診断 ウ 診断 【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コーンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imagin g <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/07/12 (木) 2時限 10:40~12:10	画像検査報告書作成2	【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。 【行動目標(SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。 【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。 【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング:有, 予習30分, プレテスト, ポストテスト マルチメディア, 実習書 【学修方略(LS)】 実習 【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室 【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像 【国家試験出題基準(副)】	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/12 (木) 2時限 10:40~12:10	画像検査報告書作成2	<p>歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 b 全身疾患の画像所見</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	<p>金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 薫 小澤 庸之 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学</p>
2018/07/18 (水) 1時限 09:00~10:30	画像診断試験2	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 試験</p> <p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 必修の基本的事項 10 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影 (口内法、パノラマエックス線検査) e CT (単純、造影) 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	<p>金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜</p>
2018/07/19 (木) 1時限 09:00~10:30	画像検査報告書作成3	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標 (SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略 (LS)】 実習</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査</p>	<p>金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 薫 小澤 庸之 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学</p>

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/07/19 (木) 1時限 09:00~10:30	画像検査報告書作成3	<p>コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査 c パノラマエックス線検査 a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 加藤 雅志 堤 嘉哉 田中 豊重 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/07/19 (木) 2時限 10:40~12:10	画像検査報告書作成3	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査報告書作成を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 顎口腔疾患の鑑別診断ができる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 顎口腔疾患の特徴像を説明できる。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 アクティブラーニング：有、予習30分、プレテスト、ポストテスト マルチメディア、実習書</p> <p>【学修方略(LS)】 実習</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準(副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 エ エックス線単純撮影 b 口内法エックス線検査 c パノラマエックス線検査 a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法(computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法(magnetic resonance imaging <MRI>)及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 加藤 雅志 堤 嘉哉 田中 豊重 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/08/29 (水) 1時限 09:00~10:30	平常試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像診断を習得する。</p> <p>【行動目標(SBOs)】 1. 画像診断について説明できる。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 試験</p> <p>【学修方略(LS)】 講義</p> <p>【場所(教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準(主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/08/29 (水) 1時限 09:00～10:30	平常試験	<p>【国家試験出題基準（副）】 必修の基本的事項 1 0 検査・臨床判断の基本 カ 画像検査 d エックス線撮影（口内法、パノラマエックス線検査） e CT（単純、造影） 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 カ MRI a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因と含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法（computed tomography <CT>）、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法（magnetic resonance imaging <MRI>）及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜
2018/08/30 (木) 1時限 09:00～10:30	歯科放射線学実習 試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 試験</p> <p>【学修方略（LS）】 講義</p> <p>【場所（教室/実習室）】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準（主）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準（副）】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ウ 医療放射線被曝の防護と管理 a 正当化、最適化、線量限度 b 患者と医療従事者の放射線防護 a コントラストと分解能 b 口内法エックス線検査 c パノラマエックス線検査 d 顎顔面頭蓋部エックス線検査 a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体（胎児を含む）への影響の特徴（急性影響と晩発影響等）を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理（画像不良の原因と含む）を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法（computed tomography <CT>）、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法（magnetic resonance imaging <MRI>）及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫 山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一郎 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学
2018/08/30 (木) 2時限 10:40～12:10	歯科放射線学実習 試験	<p>【授業の一般目標】 歯科医師として適切な画像検査や放射線管理ができるようになるために、画像検査を習得する。</p> <p>【準備学修項目と準備学修時間】 ここまでの講義内容についての試験。 遅刻や欠席をせず、必ず試験を受けること。</p> <p>【アクティブラーニングの有無・学修媒体等】 試験</p>	金田 隆 伊東 浩太郎 川島 雄介 平原 尚久 関谷 恵子 徳永 悟士 原 慶宜 村松 輝晃 村岡 宏隆 月岡 庸之 小澤 薫

日付	授業項目	授業内容等	担当教員
2018/08/30 (木) 2時限 10:40~12:10	歯科放射線学実習 試験	<p>【学修方略 (LS)】 講義</p> <p>【場所 (教室/実習室)】 301教室、第2実習室</p> <p>【国家試験出題基準 (主)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 コ 画像の鑑別診断 a 正常画像と主要疾患画像</p> <p>【国家試験出題基準 (副)】 歯科医学総論 総論VI 検査 2 画像検査 ウ 医療放射線被曝の防護と管理 a 正当化、最適化、線量限度 b 患者と医療従事者の放射線防護 c パノラマエックス線検査 d 顎顔面頭蓋部エックス線検査 a 原理、特徴、適応</p> <p>【コアカリキュラム】 E 臨床歯学 E-1 診療の基本 E-1-2) 画像検査を用いた診断 ①放射線の種類、性質、測定法と単位を説明できる。 ②放射線の人体 (胎児を含む) への影響の特徴 (急性影響と晩発影響等) を説明できる。 ③放射線防護の基準と方法を説明できる。 ④エックス線画像の形成原理 (画像不良の原因を含む) を説明できる。 ⑤エックス線撮影装置とその周辺機器の原理と管理技術を説明できる。 ⑥口内法エックス線検査の種類と適応及びパノラマエックス線検査の適応を説明できる。 ⑦口内法エックス線画像とパノラマエックス線画像の読影ができる。 ⑧顎顔面頭蓋部エックス線検査の種類及び適応を説明できる。 ⑨造影検査法、超音波検査法、コンピュータ断層撮影法 (computed tomography <CT>)、歯科用コンビームCT、磁気共鳴撮像法 (magnetic resonance imaging <MRI>) 及び核医学検査法の原理と基本的特徴を説明できる。</p>	山城 光明 加藤 尊巳 阪柳 雅志 加藤 嘉哉 堤 豊重 田中 諭 関谷 浩太郎 今井 浩之 小椋 一朗 富永 一郎 本多 伊知郎 熊坂 さつき 南 学